

【問題と目的】

- ・ 授業では一人ひとりの児童生徒が内容を十分に理解し学習に参加できる配慮が求められる。
- ・ 平成 26 年度京都府スーパーサポートセンター「インクルーシブ教育システム構築に向けた『合理的配慮』を意識した授業改善の実際的研究」の成果と課題、研究協力校の意見を踏まえて研究を進めた。
- ・ 自閉症・注意欠陥多動性障害・学習障害（診断あり/疑いの両方を含む）の児童が通常の学級で学習する場面に視点を当て、児童の実態から望ましい配慮や指導方法等を実践例として提示した。また、それぞれの児童に必要な合理的配慮を検討し、取り組んだ成果と課題をインクルーシブ教育システム構築の視点で整理し、提示した。今後の府内の全学校の実践に役立てることを目指す。

【方法】

- (1) 京都府内 A 小学校での授業参観や研究グループ会議において、対象児童に必要な合理的配慮について検討する。
- (2) 学校全体で合理的配慮についての共通理解を図るために、対象児童を自閉症・注意欠陥多動性障害・学習障害（診断あり/疑いの両方を含む）のタイプ別に必要な合理的配慮を整理する。これについては、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（中央教育審議会初等中等教育分科会特別支援教育の在り方に関する特別委員会）で示された「合理的配慮」の観点（1）教育内容（2）教育方法にそって事例を整理する。

【結果から】

実践事例①自閉症（診断あり/疑いの両方を含む）のケースより（合理的配慮の観点を中心に）

【学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮】

- ・ いらいらが頂点に達して授業を妨げる行動が止まらない時は、別室に行きクールダウンをする。

【学習内容の変更調整】

- ・ 書字については、とめ、はね、はらい等、細かい指導はしないようにし、やりきれたら○にする。

【情報・コミュニケーション及び教材の配慮】

- ・ 本人の話を聞く時は、紙に書きながら整理して見せる。

【学習機会や体験の確保】

- ・ 音楽の時間には歌の先生役を割り振るなど、得意なことを生かして授業への参加を促す。

【心理面・健康面の配慮】

- ・ 席替えや、調子が悪い時の授業への参加方法など、本人と事前に相談した上で決めるようにする。

実践事例②注意欠陥多動性障害（診断あり/疑いの両方を含む）のケースより（合理的配慮の観点を中心に）

【学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮】

- ・ 授業に不要な物は片付けさせて、余計な刺激を減らす。机の上に必要な物だけがある状態を作る。

【学習内容の変更調整】

- ・ 他児の目標設定と区別し、本児が取り組む範囲や別室受検等について、本児と話し合っ進める。

【情報・コミュニケーション及び教材の配慮】

- ・ 一斉指示で伝わりにくいことは、担任が個別に具体的に伝える。

【学習機会や体験の確保】

- ・ 授業中にわからなかった学習内容を、昼休み等に担任と一緒に取り組む。

【心理面・健康面の配慮】

- ・ 本児が取り組める行動目標を立て、評価を繰り返し行い、どう行動すればよいのかを理解できるようにする。
- ・ 周囲の児童に対して、本児への理解を促すような学級経営を行う。
- ・ できないことばかりを指摘せず、本人のペースを考慮に入れて指導する。

実践事例③学習障害（診断あり/疑いの両方を含む）のケースより

【学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮】

- ・ 大きくしっかり体を動かす取組や体を支えるような活動をさせる（雑巾がけ等）。

【学習内容の変更調整】

- ・ 宿題の内容を、本児の実態に合わせたものに変更する。

【情報・コミュニケーション及び教材の配慮】

- ・ テストの問題文に振り仮名を振る。

【学習機会や体験の確保】

- ・ 取り出し指導の時間調整を行い、本児に適した時間配分を行う。

【心理面・健康面の配慮】

・その日がんばったことの記録を保護者に見てもらい、家庭でもほめてもらうようにしている。

【まとめ】

- ・合理的配慮の評価と柔軟な見直しにより、児童の学習上又は生活上の困難が改善・克服できた事柄がいくつもあり、児童に成長や良い変化が見られた。
- ・合理的配慮は、障害の特性や、改善が求められる具体的場面や状況に応じて異なり、多様かつ個別性の高いものである。各ケースの児童の実態や教育的ニーズに焦点をあて、事前改善措置・環境整備にあたる取組も含めて実施された。
- ・支援や配慮を「合理的配慮」にするためには、「本人・保護者への十分な情報提供と本人・保護者、学校・設置者による合意形成」が必要となる。「個別の指導計画」等を活用しながら、建設的対話による相互理解を通じて、必要かつ合理的な範囲で、柔軟に対応がなされる合理的配慮の実現をさらに目指したい。